
新幹線木古内駅を活用した 広域観光の取組について



木古内町まちづくり新幹線課
新幹線振興室長 丹野 正樹

新幹線木古内駅活用推進協議会

■概要

○設置年月日

平成22年5月20日

○構成団体

渡島西部4町(木古内町・知内町・福島町・松前町)、
檜山南部5町(上ノ国町・江差町・厚沢部町・乙部町・奥尻町)、
交通事業者(函館バス、ハートランドフェリー、JR北海道)、
北海道運輸局(函館運輸支局)、北海道(渡島総合振興局、檜山振興局)

○開催実績

H22～H23: 4回、H24～H25: 3回、H26: 2回、
H27: 2回(H27.5.13、H27.11.17)



取組事例① イメージづくり

■ 広域観光キャッチコピーの制定

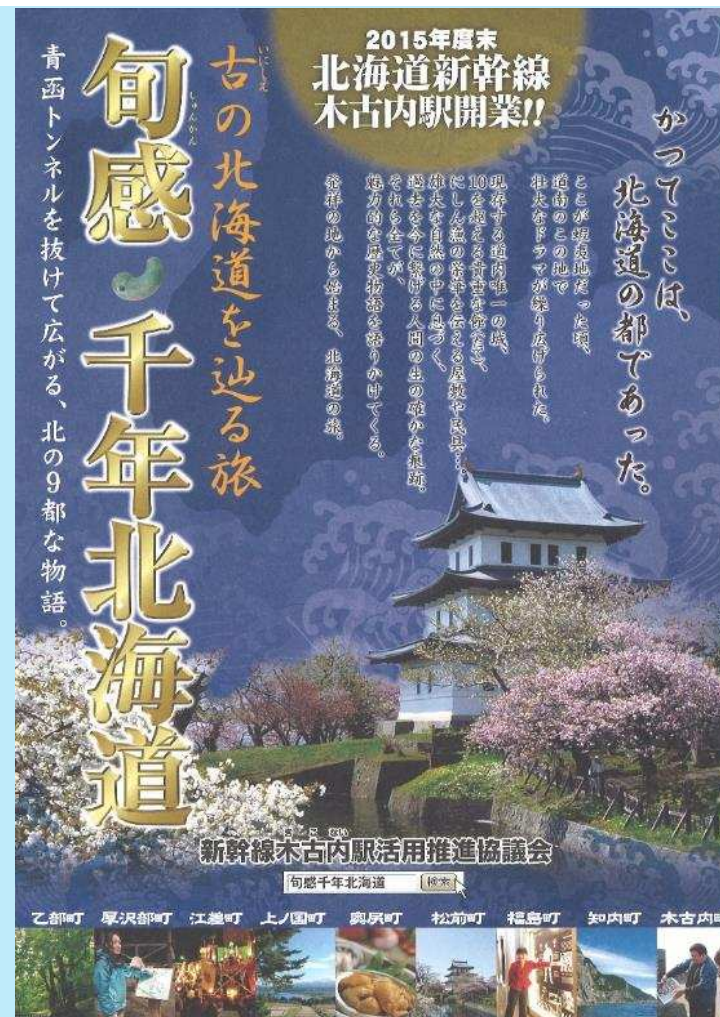
しゅん かん 旬感・千年北海道

～青函トンネルを抜けて広がる、北の9都な物語～

北海道新幹線が青函トンネルを抜けて最初に停車する「木古内駅」から広がるエリアは、中世から本州との交流が華やかに開花した「北海道発祥の地」。

悠久の歴史が育んだこの地は、ロマン溢れる多くの史蹟はもちろん、大自然が育んだ旬の食材や、元気な笑顔で訪れる人々を暖かくお迎えします。

先人の築いた「北の9都」から、新たな発見と感動をこの先へーいま「旬感・千年北海道」の旅が始まります。



取組事例① イメージづくり

■ 広域観光プロモーションの展開

平成27年度は、10月末現在で道内24、道外25のイベント等でPR活動を実施
道外は、沿線の青森、盛岡、仙台、大宮、東京のほか、名古屋、大阪にも初進出



～「9町パック」の配布～



9町の観光パンフレットや
木古内駅開業リーフレット、
ノベルティなどをパッケージ化

取組事例② 人づくり

■観光コンシェルジュの育成



- 総務省の「地域おこし協力隊」制度を利用し、都市部から意欲ある若者を招聘。
- 新幹線地域活性特命チーム「はやぶさ03(スリー)」の愛称でデビューし、3年間(H24~H26)活動。
- 平成27年度(4月~9月)は、「観光交流センター開業準備チーム」の一員として活動。

10月から観光交流センターに常駐し、
“9町のことなら何でも知っている”
「観光コンシェルジュ」へ

取組事例③ ネットワークづくり

■ 二次交通と一体となった観光地づくり

- 名称 (H28変更)
江差・松前周遊フリーパス
～千年北海道手形～
- 販売期間
4月下旬～10月31日予定
※開業日(3/26)からの販売も検討中
- 販売価格
大人4,800円 こども2,400円
- 販売実績
H26:128枚、H27:92枚



江差・松前周遊フリーパス

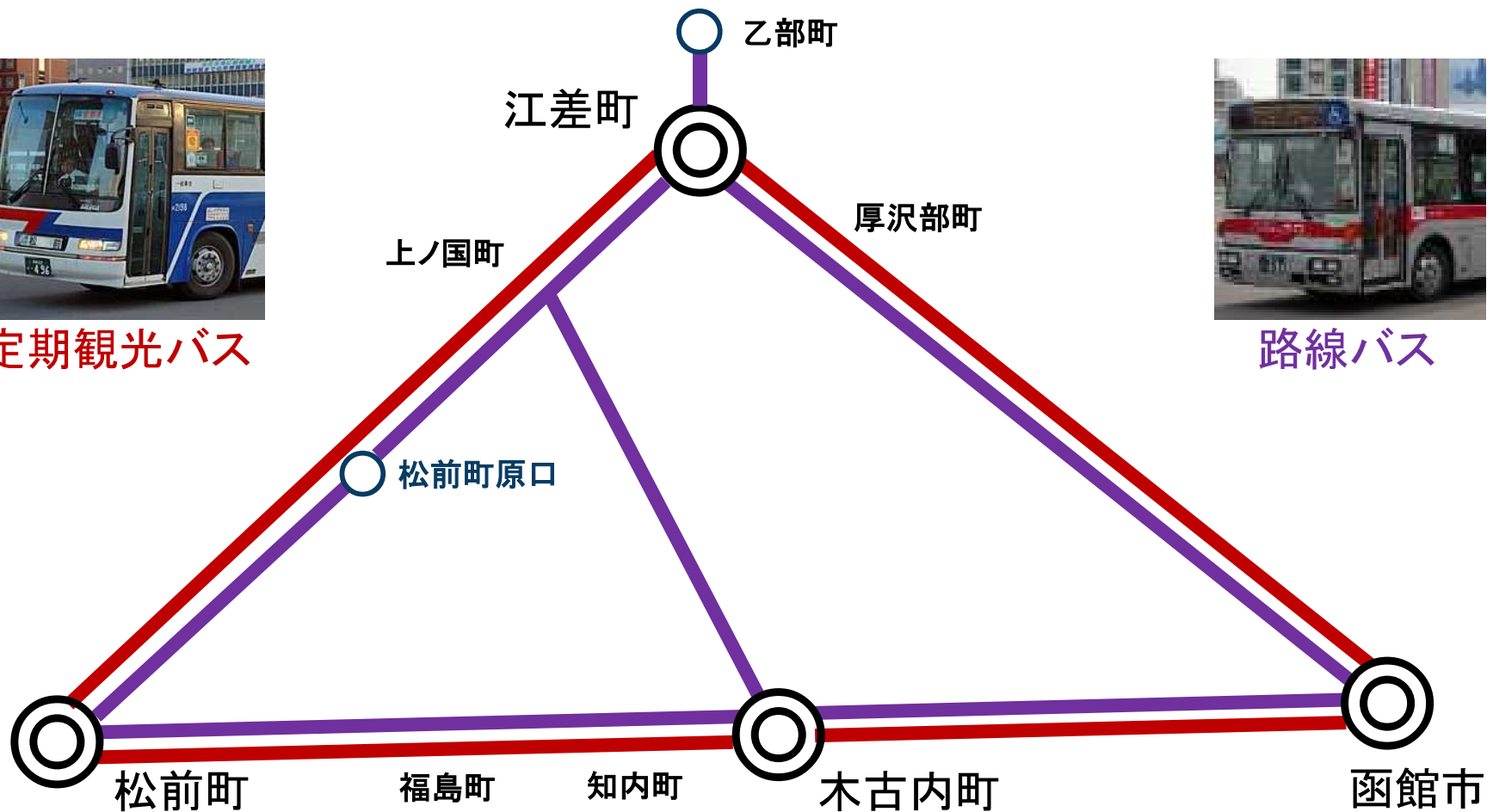
特徴① 9町エリア内の路線バスと定期観光バスが3日間乗り放題



定期観光バス



路線バス



江差・松前周遊フリーパス

特徴② 9町の滞在型・体験型観光メニュー「千年北海道プラン」と連動

＜乙部町＞
観光協会オススメ
新生・光林荘誕生

＜江差町＞
江差の栄華を巡る、
いにしえ街道まちあるき

＜奥尻町＞
島民ガイドがご案内
奥尻を満喫する
スペシャルプログラム

＜上ノ国町＞
天空都市 勝山館周辺
歴史ガイドプログラム

＜松前町＞
歴史ガイドと行く、
藩屋敷&松前城
スペシャルガイド

＜福島町＞
横綱千代の山・千代の富士記念館
と青函トンネル記念館

＜厚沢部町＞
うずら温泉で
本格中華と温泉

＜木古内町＞
「みそぎまつり」
体感まちあるき

＜知内町＞
道南の「青の洞窟」&
断崖絶壁から海を楽しむ
矢越クルーズ



木古内町「千年北海道プラン」

■概要

○名称(H28変更)

木古内みそぎまち歩き

○実施期間

通年

○参加費

1名1,000円

○所要時間

約1時間

○コース

JR木古内駅前

～駅前通

～みそぎ浜

○参加実績

H26:215名、

H27:155名(10月末現在)

新幹線木古内駅や薬師山などに
まつわるクイズを出題

幻の地酒「みそぎの舞」の試飲や
老舗和菓子店の銘菓「孝行餅」の試食もあり



180年以上続く
伝統神事
「寒中みそぎ」
を体感



取組事例④ 拠点づくり

■ 広域観光拠点施設の整備

○ 名称

道の駅「みそぎの郷 きこない」
(H28.1.13オープン予定)

○ 住所

木古内町字本町338-14

○ 面積

敷地2,128㎡、
延床843㎡

○ 駐車場(無料)

普通45台、
大型7台、
身障2台

○ 指定管理者

(一社)木古内公益振興社



道の駅「みそぎの郷 きこない」

■ 主な機能



物販

9町特産品の
「ショールーム」

- ・ 9町の特産品を幅広く販売するとともに、各町への来訪を促すアンテナショップとしての機能も提供。



レストラン

どうなんde's
Ocuda Spirits

- ・ 山形県鶴岡市を中心とした庄内地方を「食の都」に変えた奥田政行シェフが監修した質の高いレストラン。



観光案内

「人の魅力」と「鮮度」
にこだわった案内

- ・ 都市部から移住した若者を3年かけて「9町のことなら何でも知っている」観光コンシェルジュとして養成。2名常駐。



交通

駅を起点とした
二次交通の充実

- ・ レンタカーの窓口機能に加え、木古内から函館・松前・江差方面に向けて発着する路線バスの待合機能も提供。



トイレ

清潔で
質の高いトイレ

- ・ パウダールームを兼ね備えるなど、女性の快適性にこだわった高品位なトイレ。24時間利用可能。